

未来への翼

2025
Spring



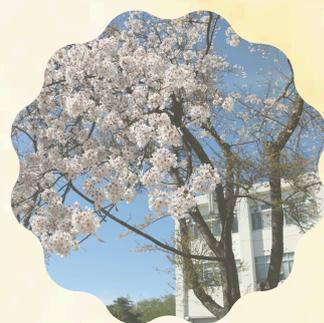
表紙

令和7年度 入学式

4月3日(木)、令和7年度入学式を挙行了しました。船崎健一学長は新入生に向けて「明るい未来に向けて挑戦してほしい」と激励しました。今年度は学部215名、大学院8名が入学しました。学生生活が実り多きものになるよう、教職員一同サポートしてまいります！

H.I.T.活動報告

学長通信





それぞれの記事は、本学ホームページでもご覧いただけます。
QRコードを読み込み、より詳しい内容をチェックしてください！

📌 みんなでつくる八戸工業大学

「学長と学生の懇談会」を実施しました



4月9日（水）、「学長と学生の懇談会」を実施しました。今回は学友会・体育会・文化会の役員15名が参加し、学長と大学について意見交換を行いました。学生からは学内の施設や環境などについて、それぞれが感じている魅力や「こうなってくると嬉しい」という要望が挙げられました。船崎学長は定期的に学生との懇談の場を設けることとし、「より良い大学づくりのために皆で取り組みたい」と話しました。



📌 課外活動の充実に向けて①



硬式野球部、サッカー部 新監督就任！

3月、硬式野球部新監督に山下繁昌氏が就任しました。山下繁昌監督は今回の就任について「1部リーグ昇格という一つの目標に向かって一緒に戦っていききたい」と抱負を語りました。また、4月にサッカー部新監督に本多進司氏が就任しました。ソニー仙台FCでの選手、指導者としての経験を活かし、まずは体制整備に取り組んでいきます。

📌 課外活動の充実に向けて②

バレーボール用品を 寄贈いただきました



この度、日本建設工業株式会社様より本学バレーボール部に、用品を寄贈いただきました。同社技術主任の澤上様が本学バレーボール部OBであるご縁などから、今回の運びとなりました。5月7日(水)に贈呈式を実施。用品を受け取った同部主将の種市耕己さん（工学科 電気電子通信工学コース／弘前工業高校出身）は、「全日本インカレ出場を目標にがんばりたい」を意気込むとともに、支援に感謝しました。



📌 高大連携活動



高校生を対象とした 課題研究



本学では、2016年度より八戸工業大学第一高等学校との「高大連携事業」を実施しており、同校の生徒に本学での研究や実習を体験する機会を提供しています。この事業の一環として、今年度は同校工業科電気コースの3年生24名が工学部工学科の5つの研究室で、課題研究に取り組むことになりました。5月～6月にかけて、5回にわたり実施します。

📌 継続的な学びへの経済支援

八戸工業大学 特待生・ 奨学生伝達式を実施



本学では、学業及び課外活動で特に優れた成績を取めた人に対する支援として、入学時に採用される特待生制度を設けています。また、在学学生を対象とした奨学生制度があり、年度ごとに選考が行われています。4月25日（金）に、今年度採用となった特待生・奨学生への伝達式を行いました。特待生（新入生）、奨学生（2年生～4年生）の代表者が登壇し、船崎健一学長から採用通知を受け取りました。



📌 学生のさらなる満足度向上へ



多目的ホールを リニューアルしました



これまで、講義や講演会、フリースペースとして活用してきた同ホールを、より過ごしやすい空間にするため改修を行いました。什器の入れ替えや内装の洗練化を行ったほか、一人での利用がしやすい席を新設。新たな学生の居場所となることが期待されます。今回の改修には、八戸工業大学50周年記念でいただいた寄付金と、本学第7代学長、故・高橋燦吉氏のご遺族による寄付金を活用しました。

📌 特定技能エンジニアプログラム

令和7年度前期 入校式を実施しました



本学では令和6年度より「八戸工業大学外国人特定技能エンジニアプログラム」を開設し、留学生の特定技能1号試験合格を支援しています。今年度もミャンマーから留学生を受け入れ、試験合格に向けた講義を展開します。前期（5月～9月）は、建設分野と自動車整備分野あわせて10名の留学生が入校しました。5月16日（金）に入校式を行い、教職員や内定先企業関係者が祝福しました。



📌 地域の皆さまへ



ばんらぼにて 公開講座を開催中！



本学では市民の皆さまを対象に「マチナカ公開講座」を開講しています。工学、デザインや一般教養に関連したトピックスを、本学の教員が分かりやすくお話しします。場所は八戸市中心街の番町サテライトキャンパス（ばんらぼ）です。講座の日程や内容は、QRコードからご確認ください。ご参加をお待ちしています！

学長通信 (No.1)



はじめまして。2025年4月1日から八戸工業大学の学長を拝命している船崎（ふなざき）健一です。東北大学で博士号を取得し、民間企業でジェットエンジンの研究開発に4年間従事したのち、岩手大学工学部・理工学部で34年航空宇宙関係の教育研究を行なってまいりました。

この度、ご縁あって八戸工業大学（通称八工大）に着任し、大学運営を担当することになりました。よろしく申し上げます。

私は前職で長年にわたり大学教員を経験してきましたが、そこで得た最大の宝物は、私の研究室での研究活動に参加してくれた数多くの学生たちです。私が充実した教員生活を送れたのは、ひとえに学生たちのお陰と言って過言ではありません。

今年の3月末に八戸工業大学での勤務が決まったのち、非常勤や客員の仕事をしていた岩手大学の研究室でささやかな送別会を催してもらいました。

その際、私の定年退職の年に学部を卒業しそのまま大学院に進学した4名の研究室メンバーから右の写真のようなタンブラーを戴きました。似顔絵付きのタンブラーは、八戸で生活をするようになってからの愛用のタンブラーになっており、これにビールを注ぎながら本学の運営に思いを巡らす日々となっています。

春の名残を感じず構内では、学生たちが元気に勉学に励んでいます。今後も徒然なるままに、本学の魅力とともに、私的なお話、身の回りのお話などもお届けする予定です。八戸工業大学の活動にご注目ください。



編集後記

『未来への翼』初号をお読みいただきありがとうございました。

『大学の動きを外に伝えるツールを』との声を受け、新たに広報誌を作成していくことになりました。年4回の発行を目指しています。

『検索してチェック!』という言葉の先は個人の判断ですが、紙を手渡されると情報が何となくでも目に入ります。SNSなどスマホで情報を得ることが当たり前となった今、あえて紙媒体を出す意味はここにあるのかもしれないと考えながら編集しました。

タイトルは新学長に就任された船崎学長につけていただきました。広報誌の発行により、本学の活動が広く外に羽ばたいてくれると嬉しいです。(大学広報・入試広報チーム)

HP・SNSでも情報発信中！



八戸工業大学
Hachinohe Institute of Technology

工学部 工学科

感性デザイン学部 感性デザイン学科

大学院 工学研究科